

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-786

研究課題名

卵巣明細胞腺癌の原因遺伝子を探る

研究期間 西暦 2015 年 2 月（倫理委員会承認後）～ 2019 年 3 月

対象試料

- 病理試料（対象臓器名 卵巣腫瘍）
 生検試料（対象臓器名）
 血液試料 遊離細胞 その他（）

上記試料の採取期間 西暦 2001 年 4 月～ 2015 年 1 月

意義、目的

卵巣癌は比較的化学療法に感受性の高い疾患とされています。しかし卵巣明細胞腺癌は卵巣癌の中で頻度の高い漿液性腺癌と比較すると必ずしも化学療法に対する効果が同様とは言えません。また、卵巣明細胞腺癌は欧米では上皮性卵巣腫瘍の 6%程度ですが、本邦では 20%程度と多くみられます。卵巣明細胞腺癌は子宮内膜症を母地に発生することが古くから考えられており、子宮内膜症が増加している本邦において、今後も増加が見込まれる疾患です。この病気への罹りやすさや治療法を評価するための新たな指標を得ることを目的とします。

方法（他の研究機関に試料・情報を提供する場合は、その旨も記載してください）

2001 年 4 月から 2015 年 1 月まで、当院で卵巣癌の診断で手術を行った患者様を対象とします。手術で得られた組織から DNA を抽出し、匿名化を行った後に次世代遺伝子解析機や、マイクロアレイ（ゲノム全体で頻繁にみられる塩基の変異を探る装置）で解析を行い、東北メディカルメガバンク機構にストックされている 1000 人の健常人のゲノムと比較することで原因遺伝子の検索を行います。

問い合わせ等の窓口

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 Tel: 022-717-7251
東北大学医学部 産科学婦人科学教室 助教 徳永 英樹
大学院生 渋谷 祐介